

公益財団法人つなぐいのち基金
平成31年度 第2回 評議員会(定時)議事録

1 開催場所 東京都中央区京橋2丁目14-1 兼松ビルディング3階 会議室 および テレビ会議「chatwork」

2 開催日時 令和元年11月15日(金)16時00分～17時00分

3 評議員現在数及び定足数 現在数 5名、定足数3名

4 出席評議員 3名 委任状提出者 2名

出席: 角田大憲評議員 角田弘子評議員 (WEB 参加)福岡評議員

清水代表理事 鵜居副代表理事 豊住常務理事

委任状提出: 長谷川評議員 立木評議員

議事録作成者: 豊住常務理事兼事務局長

5 議案

【決議および承認事項】

第1号議案「令和2年度 事業計画書(案)及び収支予算書(案)に関する承認」の件

【討議事項】

第2号議案 令和2年度評議員会の日程調整6 会議の概要

(1) 定足数の確認 冒頭で豊住常務理事兼事務局長から定足数の充足を確認した。

(2) 議案の審議状況及び議決結果 定款に基づき、清水代表理事が議長となり議案の審議に入った。

定款第21条第2項の規定に基づき、出席評議員全員の委任を受けて議長が議事録署名人に、角田大憲評議員及び角田弘子評議員を指名し、両評議員も承諾した。

<決議事項>

第1号議案「令和2年度 事業計画書(案)及び収支予算書(案)に関する承認」の件

議長の求めに応じ、豊住常務理事兼事務局長から、事業計画書・収支予算書案につき議案の説明があった。
(豊住常務理事)

内閣府公益認定等委員会事務局から立入検査以降、変更届出にて事業の修正を行った後は、毎年度の助成額150万円、事業規模500万円以上を含め、ほぼ事業内容に準じた運営ができています。

助成先も30団体に達し、また、当財団の基礎となる団体の創設10周年を迎える令和2年度は、いよいよ次のステージに向けた取り組みを再開できると考えています。

令和2年度の事業計画のポイントは次の通り。①創設10周年を機に次のステージに向け、社会的認知の向上と求められる事業に関する調査を実施する。②助成事業について応募型に加え指定型の助成の追加、助成先への共感寄付やイベント開催によるファンドレイジング支援を行う。③事務局への非常勤職員の人員配置を行い運営基盤の強化と委託費削減、更に賃借料等による固定費の圧縮を行う。④3年後の公益10周年に向けた新たな事業展開も視野に、助成事業の革新と実績を積み重ね公益の増進に寄与する。⑤公益目的事業の「高齢者の福祉」を追加することを視野に企業との協働を含めた検討・準備を行う。

予算については、助成額は通年の150万円と平成31年度に指定正味財産とした継続助成の40万円と併せて190万円としている。平成31年度は記念式典をペンディングしたため事業規模を500万円台とし、令和2年度は700万円台としている。なお、平成31年度見込については、幾つかの不確定要素を残しているため、本予算書から一定の変動があることをご容赦いただきたい。

また、これまで賃借してきたシェアオフィスの経営会社が代わり、賃料の値上げを筆頭に利便性等の条件面がマイナスとなっていることもあり、事務所についても見直しを検討している。代表理事の経営する法人からのリソースの提供などについても打診中である。事務所の住所変更を伴う場合には、みなし理事会および評議員会にて審議を依頼する予定であることを留意いただきたい。(詳細説明のついでに記載は割愛。議案資料参照のこと。)

(角田大憲評議員)

創立記念イベントの開催スケジュールが確定できていないのはなぜか。

(豊住常務理事)

協働している高校生の活動報告の場であることもあり、また、令和3年度の事業計画・予算の承認のための評議員会と同日開催ができればとも考えていることもあり、来年の4月に高校のスケジュールが出た後に日程調整ができればと考えている。

(清水代表理事)

常任理事会にて記念式典計画および日程調整・日程管理をしっかりと行っていくので理解いただきたい。

(角田大憲評議員)

了解した。

(福岡評議員)

フィージビリティ強化、高齢者福祉へのチャレンジを含め次のステージに向けた計画は評価したい。

(清水代表理事)

平素より支援・支持いただき感謝する。

(角田弘子評議員)

今年度の助成で特質すべき事業や団体はあるか。

(豊住常務理事)

現状の大きな社会課題に対して、地道な取り組みから先進性のあるチャレンジablなものまで素晴らしい選考ができたと自負している。また、過去助成先で明確な実績を残している団体に対し、当財団としては初めての継続助成の選考を行った。詳細は業務執行に関する報告にて紹介する。

(角田弘子評議員)

承知した。

(清水代表理事)

それでは、事業計画および収支予算書につき承認いただき、内閣府への定期報告を行うことでよいか。

(全員)

異議なし。

審議の結果、原案どおり出席者全員一致で可決した。

<討議事項>

第2号議案 令和2年度評議員会の日程調整

日程調整の結果、平成31年度の決算役員会は

理事会 2020年1月24日(金) 17:00-18:00

評議員会 2020年2月12日(火) 17:00-18:00

なお、これまで一度も実際にできていなかった役員会の交流会を理事会終了後に開催する。

上記理事会については評議員のオブザーブ参加を可能とするので用命いただきたい。

以上をもって議案の審議等を終了したので、17時00分、議長は閉会を宣し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び議事録署名人は記名押印する。

令和元年11月15日

代表理事 清水祐孝

議事録署名人 角田大憲

議事録署名人 角田弘子

議事録作成者 豊住吉弘